

IFCO2013大阪世界大会参加報告書



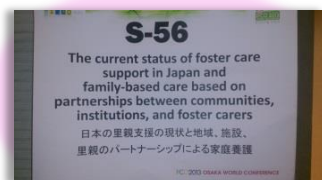
日程 2013年9月15日(日) 15:30~17:00

場所 大阪国際交流センター

発表者 NPO STARS
林 康次郎、中道亜紀子、福田 義浩、春田 真樹、森澤 のぞみ、南山 今日子

テーマ 分科会参加 発表テーマ
『日本の里親支援の現状と、地域・施設・里親のパートナーシップによる家庭養護』
～スウェーデン・デンマーク・ドイツ・イギリスの児童福祉視察を通して見えてきた日本の現状と課題

内容 2013年9月13日[金]～16日[月]の日程で開催された、IFCO(国際フォスターケア機構)大阪世界大会分科会に、NPO STARSとして参加しました。
今年で39回を数える資生堂児童福祉海外研修の中から、2011年のスウェーデン・デンマーク及び、2012年のドイツ・イギリスの視察研修より知見を得た「里親支援」に着目。『日本の里親支援の現状と、地域・施設・里親のパートナーシップによる家庭養護』をテーマとしました。
縦割り行政のため、制度の枠を超えることが容易ではない日本。一方、訪問した4ヶ国では、他分野協働の認識が強く、必要性があればそのニーズの根拠を客観的に議論し発信し合っていました。家庭養護へのシフトを考えている日本においても、これからは里親“支援”ではなく、地域、里親、施設がそれぞれパートナーシップによる連携を進めていくことが必要と言えるでしょう。
今回の発表では、システムや体系に捉われるのではなく、それぞれに抱えるメリット、デメリットを踏まえながら、その中心に子どもがしっかりと存在しているかどうか、その子どもにとって何が最善であるかを基に考え、方向性を見極めていくことの大切さを伝えることができましたように思います。



27名定員の会場は100名近くの聴衆者であふれました。

所感 今回のIFCO大阪世界大会分科会参加は、NPO STARSとしてスタートした私たちが、これまでの学びの成果を公の場で発表する最初の機会となりました。私たちが発表した『地域、施設、里親のパートナーシップによる家庭養護』の提言は、本大会のテーマである『家庭養護の推進に向けて協働しよう』にまさに通ずるものでありますが、数多くの分科会の中から、私たちの分科会を選んで足を運んでくださった方は100名近くにおよび、“パートナーシップ”や“協働”ということへの関心の高さが伺えたように思います。



とはいえ、家庭養護の推進とそれに向けての協働への歩みはまだ始まったばかりです。今回の発表はあくまでもパートナーシップを築いていくための契機となったにすぎません。今後はNPO STARSとして、社会的養護を必要とする子どもたちの幸せな人生を構築していくために、発信力と実践力をもってさまざまな取り組みを進めていきたいと思っております。

